

カンボジア便り

現地語学訓練が終わりました。

本日、語学訓練の最終日を迎えました。首都プノンペンでの 1 か月の語学研修の最後、語学の上達具合を見てもらうため、1 人 1 人が内容を考えて 10 分間、クメール語で発表をしました。カンボジアの方は、日本の有名な都市の名前は知っていますが、新潟県はほとんど知られていません。雪遊びの写真を交えながら、新潟県の良い所、そしてさんぽく小学校の良さを伝えてきました。2022 年の 3 年生が取り組んだ日本国太鼓の動画を紹介したら、カンボジアの方々も「オー！」と興味を持ってくれました。

発表会も終わったので、9/11 に派遣先のバタンバン州へ引っ越します。14 日から活動が始まる予定です。



クメール語を教えてくれた先生たち



ここが違うよカンボジア

今回は、カンボジアに来て一ヶ月経った今、さんぽく小の皆さんに「カンボジアでは普通だけど、日本人の私が見てびっくりしたこと」を紹介します。

①バイクやトゥクトゥクという乗り物に乗って移動するのが基本です。バイクに乗るための免許は日本と違い必要無く、小学生も自分で運転して学校に行くことがあります。交通量が多いので少しヒヤッとする場面を見かけます。



②道に移動式の屋台が出ています。朝はお粥や、クイティウという麺料理、昼と夜は肉や魚と一緒にご飯を食べるといった感じで、朝から外で買って食べる人も多いです。日本では見たことが無いフルーツもたくさん売られています。



③屋台が多い分、買ったもののゴミがその場に置かれていることも。ゴミ箱も町中にありますし、ゴミ収集車ももちろん走っていますが、捨てる人も多いようでカンボジアの国全体でポイ捨てしないように呼びかけているそうです。



④日本のキャラクターやお菓子をよく見かけます。首都には日本と同じイオンもあり、意外かもしれませんがカンボジアで暮らしていても大体の日本の製品は手に入ります。日本の工場などもカンボジアに多く参入しています。

